

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年2月18日 (2016.2.18)

【公表番号】特表2014-503256(P2014-503256A)
 【公表日】平成26年2月13日 (2014.2.13)
 【年通号数】公開・登録公報2014-008
 【出願番号】特願2013-542247(P2013-542247)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 M 25/092 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 B 1/00 3 2 0 A

A 6 1 M 25/00 3 0 9 B

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成27年12月22日 (2015.12.22)
 【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

管腔内を視覚化するための視覚化装置を配置可能な内面を有し、前記視覚化装置に対して回転可能な管と、

前記管とともに回転可能となるよう前記管の外周面に設けられ、中空構造を有し、当該中空部分への充填材の供給によって機械的特性が変化可能な螺旋ねじと、

前記螺旋ねじの中空部分に充填された前記充填材に圧力を加える加圧部と、

前記螺旋ねじに設けられ、前記加圧部による圧力に応じて前記中空部分に充填された前記充填材を管腔内に排出する充填材排出部と、を具備する体内挿入装置。

【請求項 2】

前記充填材排出部は、前記螺旋ねじに形成されたスリットを通して前記充填材が排出される請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 3】

前記充填材排出部は、前記スリットを閉じるシールを含み、当該シールは、前記加圧部から圧力を加えられることで前記スリットから除去される請求項 2 に記載の体内挿入装置。

【請求項 4】

前記シールは、可溶性シールを含む請求項 3 に記載の体内挿入装置。

【請求項 5】

前記スリットは、前記螺旋ねじの先端に設けられる請求項 2 に記載の体内挿入装置。

【請求項 6】

前記充填材排出部は、前記加圧部から圧力を加えられることで破られる薄壁を含む請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 7】

前記充填材排出部は、前記螺旋ねじに設けられたバルブを含む請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 8】

前記バルブは、ダックビルバルブである請求項 7 に記載の体内挿入装置。

【請求項 9】

前記加圧部は、前記充填材を供給するための、前記中空部分に連通する小径管を含み、前記小径管を通して前記充填材を前記螺旋ねじの外へ押し出す圧力が加えられる請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 10】

前記加圧部は、前記可溶性シールを溶解させる溶媒による圧力を加える請求項 4 に記載の体内挿入装置。

【請求項 11】

前記加圧部は、手動により制御される請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 12】

前記機械的特性は、前記加圧部から前記充填材に圧力を加えることで変化する請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 13】

前記機械的特性は、前記充填材に応じて変化する請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 14】

前記螺旋ねじは、前記充填材が導入される中空空間を有している請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 15】

前記充填材は、治療剤を含有している請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 16】

前記充填材は、ゼラチンを含む請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 17】

前記充填材は、寒天を含む請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【請求項 18】

前記充填材は、前記装置の視覚化を向上させるように選択される請求項 1 に記載の体内挿入装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0278

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0278】

さらなる構造

当業者には本開示に鑑みて本発明のさらに別の実施形態が自明になるであろうと考えられる。本発明は、決して、ここに開示され及び / 又は図面に示されている特定の構造に限定されるものではなく、本発明の範囲内のあらゆる修正又は等価物をも備えたものであると理解されることができる。

以下に、出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C1]

管腔内に配置される視覚化装置を受け入れられるサイズを有する管と、

前記管の外周面に、該記管の縦軸に対して回転可能に設けられ、充填材を内部に導入可能で、該充填材に応じて機械的特性を変化する螺旋ねじと、

前記螺旋ねじ内の前記充填材に圧力を加える加圧部と、

前記螺旋ねじに設けられ、圧力を加えることによって、前記螺旋ねじから前記充填材を排出する充填材排出部と、を具備する体内挿入可能装置。

[C2]

前記充填材排出部は、前記螺旋ねじに形成されたスリットと、前記スリットを閉じるシールとを含み、前記スリットを通して前記充填材が排出される C1 に記載の体内挿入可能

装置。

[C 3]

前記シールは、前記加圧部から圧力を加えられることで前記スリットから除去される C 2 に記載の体内挿入可能装置。

[C 4]

前記シールは、医学的に許容できる手段によって形成される C 2 に記載の体内挿入可能装置。

[C 5]

前記シールは、可溶性シールを含む C 2 に記載の体内挿入可能装置。

[C 6]

前記スリットは、前記螺旋ねじの先端に設けられる C 2 に記載の体内挿入可能装置。

[C 7]

前記充填材排出部は、前記加圧部から圧力を加えられることで破られる薄壁を含む C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 8]

前記充填材排出部は、前記螺旋ねじに設けられたバルブを含む C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 9]

前記バルブは、ダックビルバルブである C 8 に記載の体内挿入可能装置。

[C 10]

前記加圧部は小径管を含み、前記小径管を通して前記充填材を前記螺旋ねじの外へ押し出す圧力が加えられる C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 11]

前記加圧部は、前記充填材を前記螺旋ねじの外へ押し出す圧力を加える C 5 に記載の体内挿入可能装置。

[C 12]

前記加圧部は、前記可溶性シールを溶解させる溶媒による圧力を加える C 5 に記載の体内挿入可能装置。

[C 13]

前記加圧部は、手動により制御される C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 14]

前記機械的特性は、前記加圧部から前記充填材に圧力を加えることで変化する C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 15]

前記機械的特性は、前記充填材に応じて変化する C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 16]

前記螺旋ねじは、前記充填材が導入される中空空間を有している C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 17]

前記充填材は、治療剤を含有している C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 18]

前記充填材は、ゼラチンを含む C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 19]

前記充填材は、寒天を含む C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 20]

前記充填材は、前記装置の視覚化を向上させるように選択される C 1 に記載の体内挿入可能装置。

[C 21]

管腔内に配置される視覚化装置を受け入れられるサイズを有する管と、

前記管の外周面に、該記管の縦軸に対して回転可能に設けられ、充填材を内部に導入可

能で、該充填材に応じて機械的特性を変化する螺旋ねじと、

前記螺旋ねじ内の前記充填材に圧力を加える加圧部と、

前記螺旋ねじに設けられ、圧力を加えることによって、前記螺旋ねじから前記充填材を排出する充填材排出部と、を具備する体内挿入可能装置による解剖学的空間を視覚化するための方法であって、

前記螺旋ねじを回転させることによって、解剖学的構造に対して相対的に移動させる工程と、

前記管の管腔内に配置される視覚化装置を用いて、前記解剖学的空間を視覚化する工程と、を具備する方法。

[C 2 2]

前記体内挿入可能装置の、前記解剖学的構造に対するさらなる相対移動を容易にするために、前記螺旋ねじから前記充填材を排出する工程をさらに具備する C 2 1 に記載の方法

。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】図面

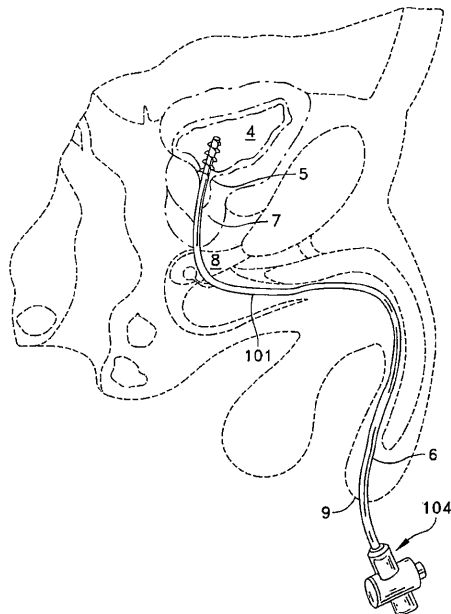
【訂正対象項目名】全図

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

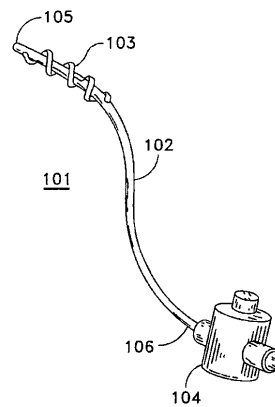
【図 1】

図 1



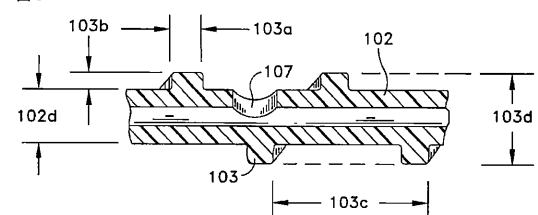
【図 2】

図 2



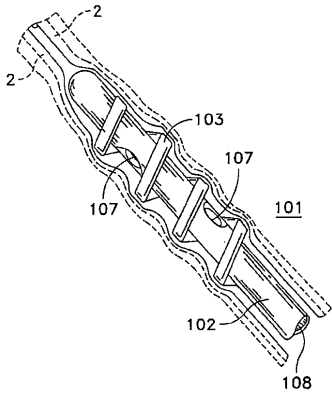
【図 3】

図 3



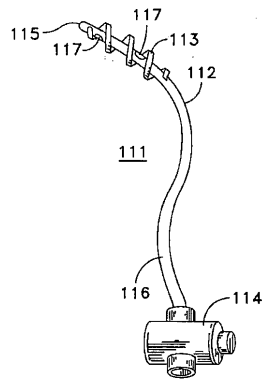
【 図 4 】

図 4



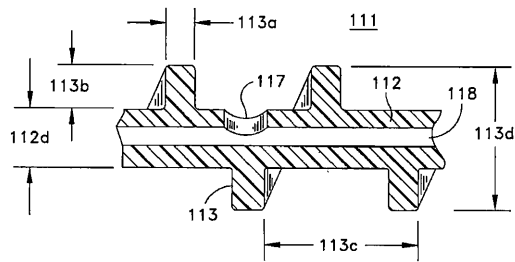
【 図 5 】

図 5



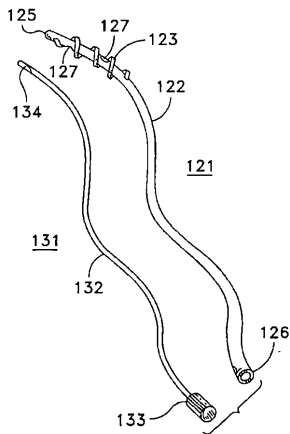
【 図 6 】

図 6



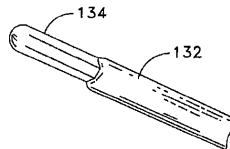
【 図 7 】

図 7



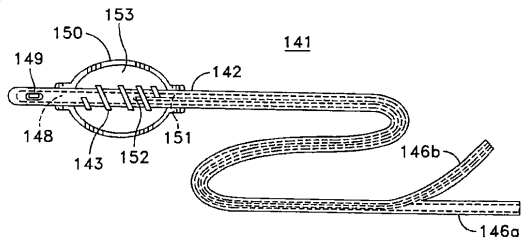
【 図 9 】

図 9



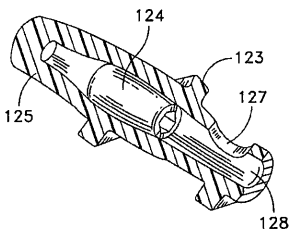
【 図 10 】

図 10



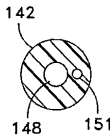
【 図 8 】

図 8



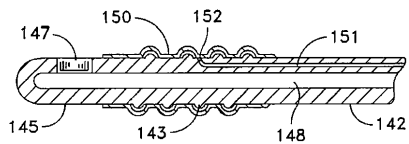
【 図 11 】

図 11



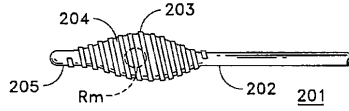
【図 1 2】

図 12



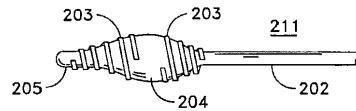
【図 1 3】

図 13



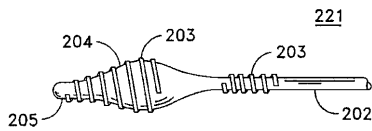
【図 1 4】

図 14



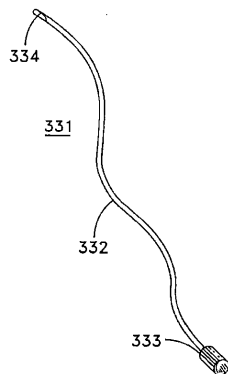
【図 1 5】

図 15



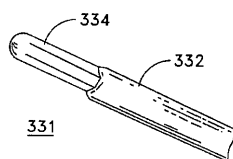
【図 1 9】

図 19



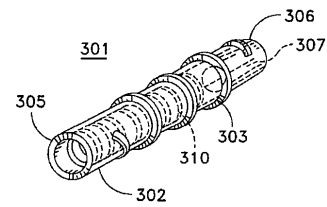
【図 2 0】

図 20



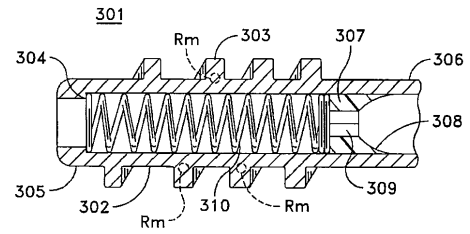
【図 1 6】

図 16



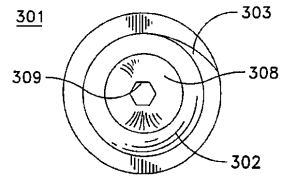
【図 1 7】

図 17



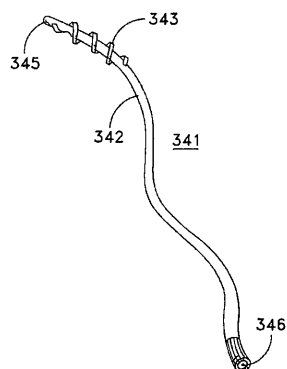
【図 1 8】

図 18



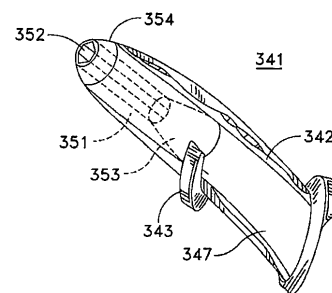
【図 2 1】

図 21



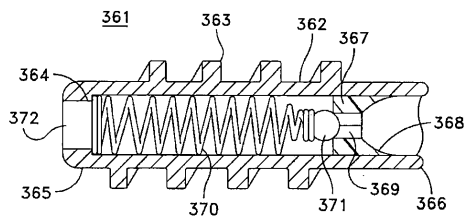
【図 2 2】

図 22



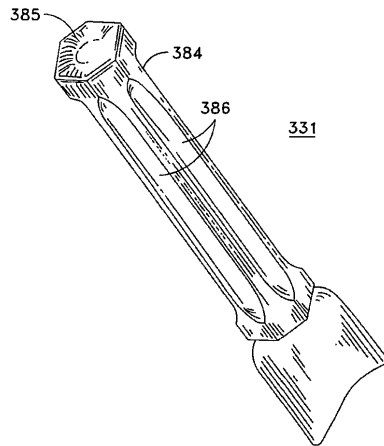
【図 2 3】

図 23



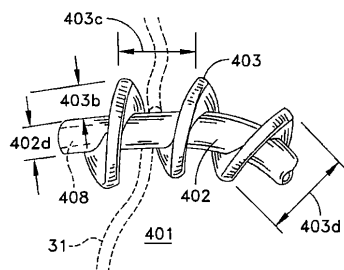
【図 2 4】

図 24



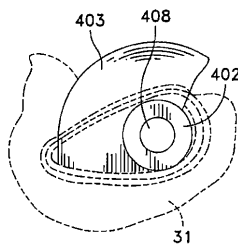
【図 2 6】

図 26



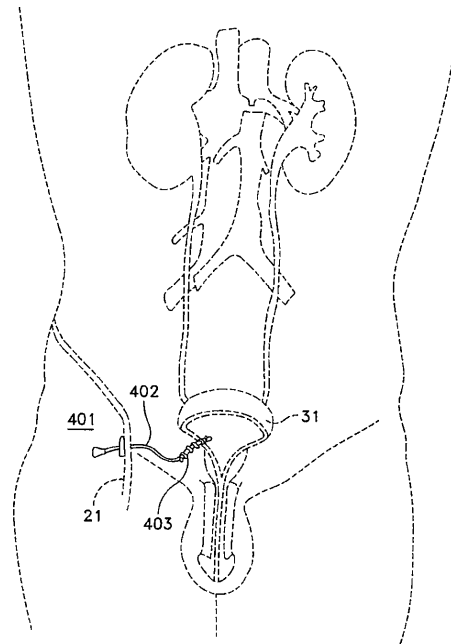
【図 2 7】

図 27



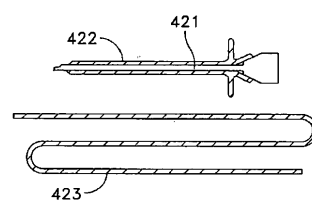
【図 2 5】

図 25



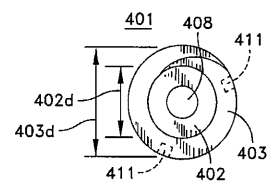
【図 2 8】

図 28



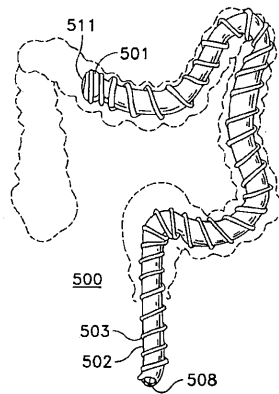
【図 2 9】

図 29



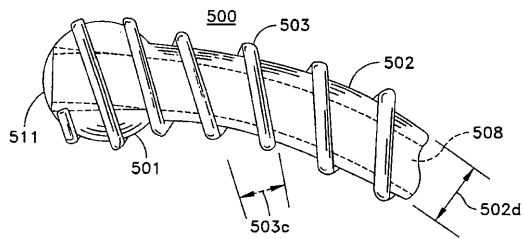
【図 30】

図 30



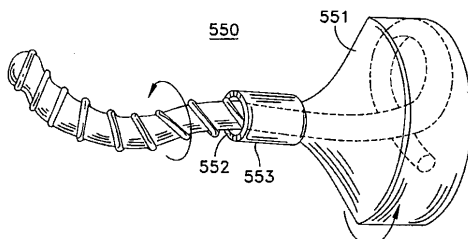
【図 31A】

図 31A



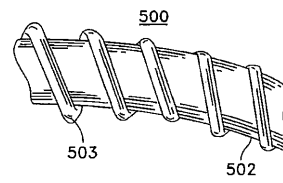
【図 34】

図 34



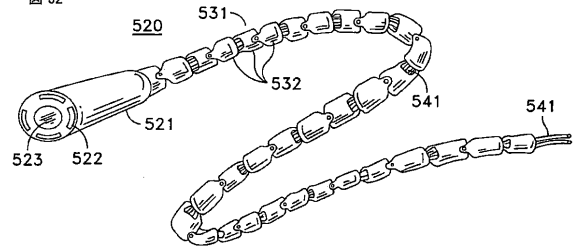
【図 31B】

図 31B



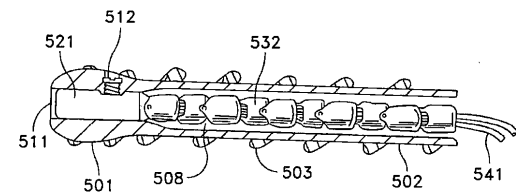
【図 32】

図 32



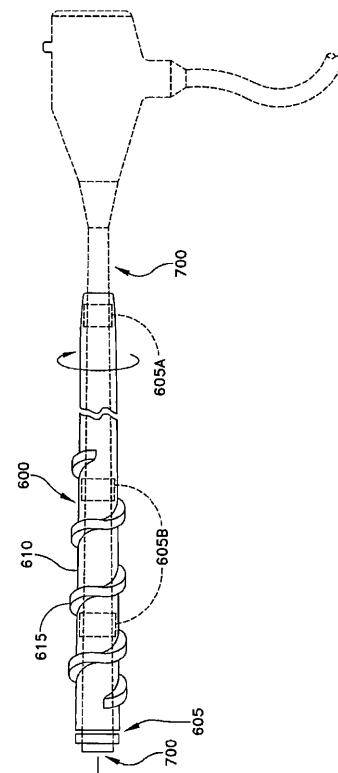
【図 33】

図 33



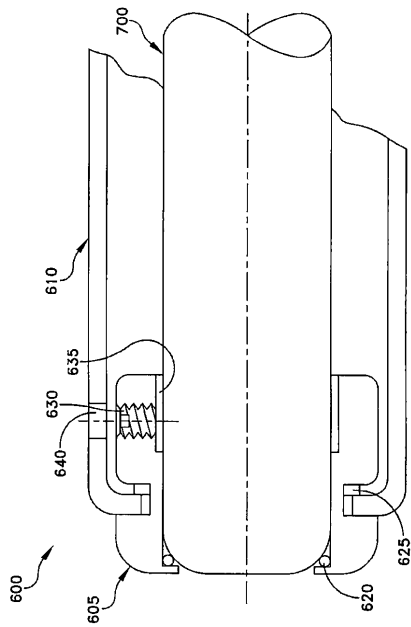
【図 35】

図 35



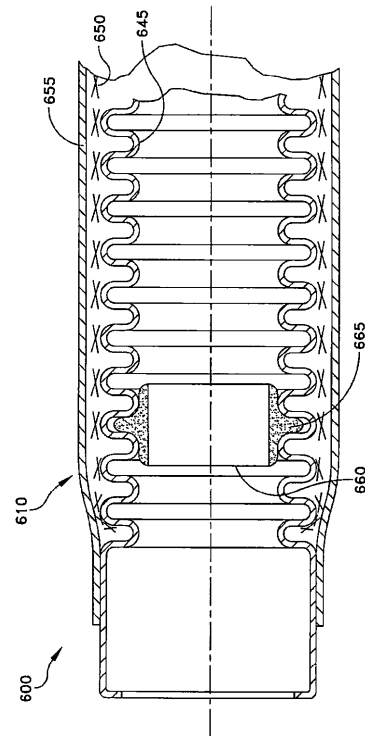
【図 36】

図 36



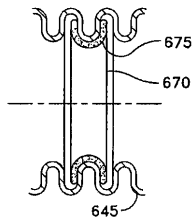
【図 37】

図 37



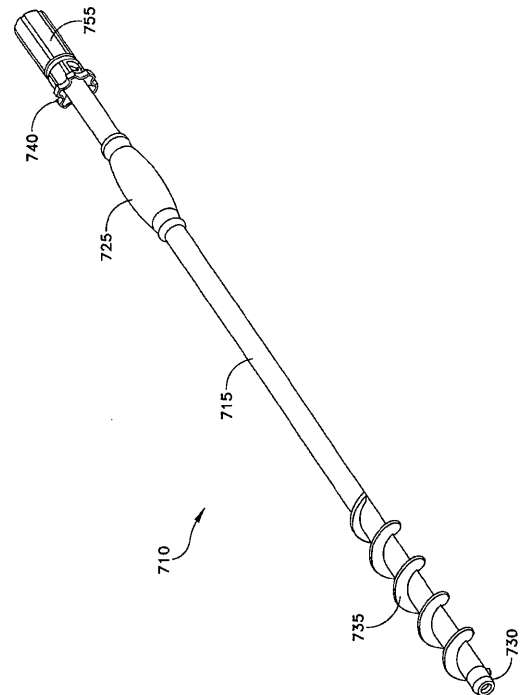
【図 38】

図 38



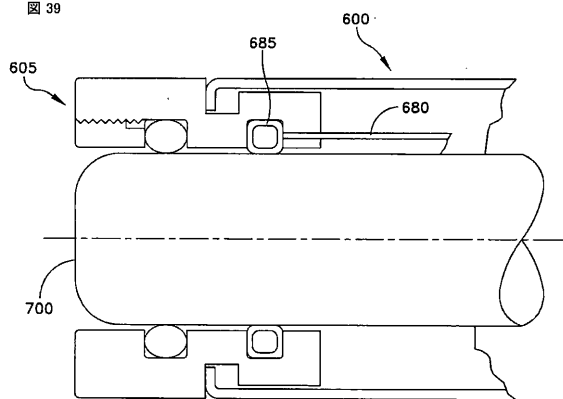
【図 39 A】

図 39A



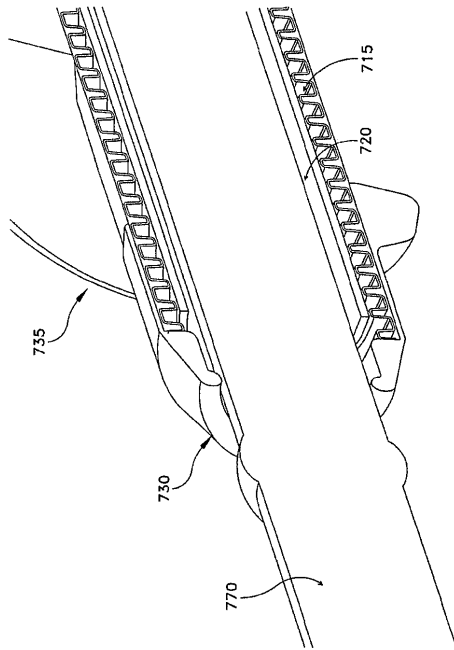
【図 39】

図 39



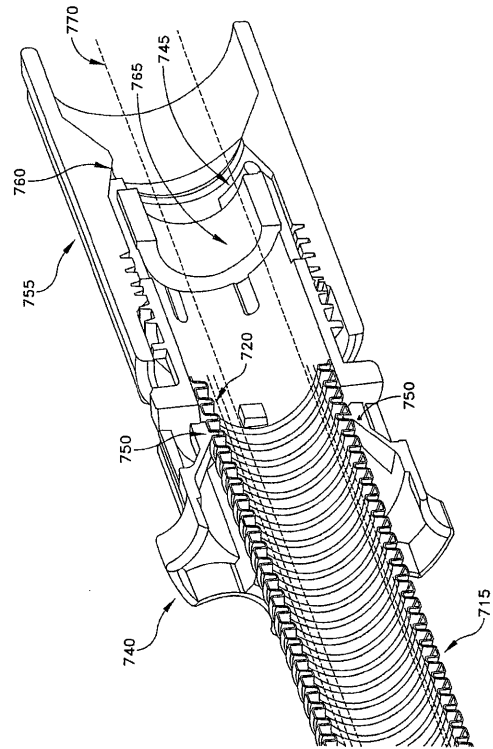
【図 39 B】

図 39B



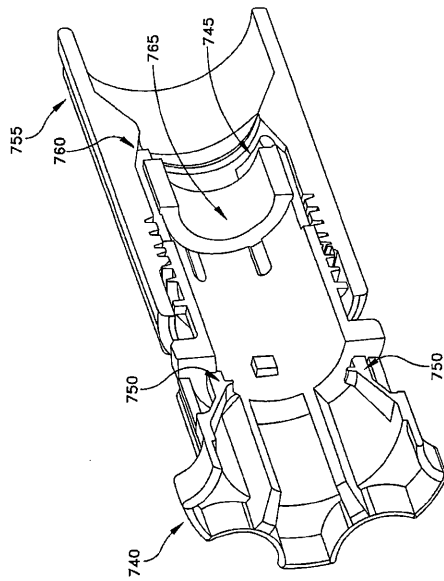
【図 39 C】

図 39C



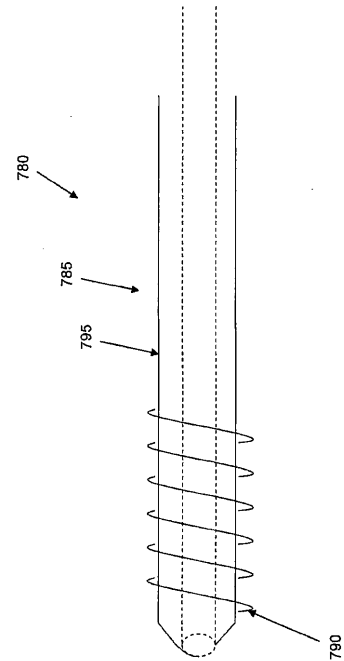
【図 39 D】

図 39D



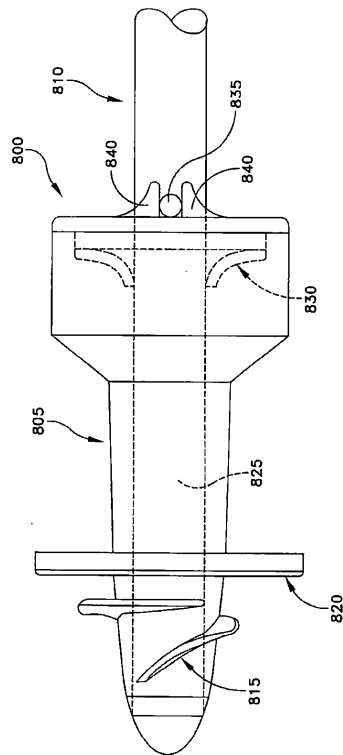
【図 39 E】

図 39E



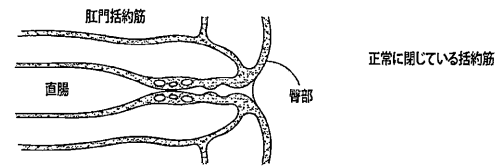
【図 40】

図 40



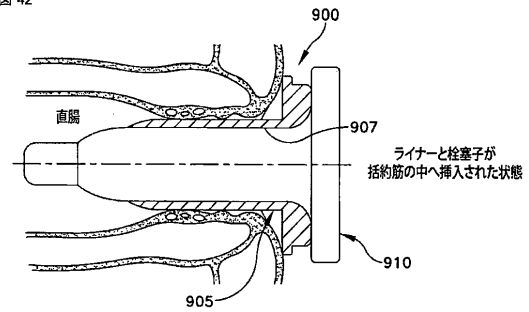
【図 41】

図 41



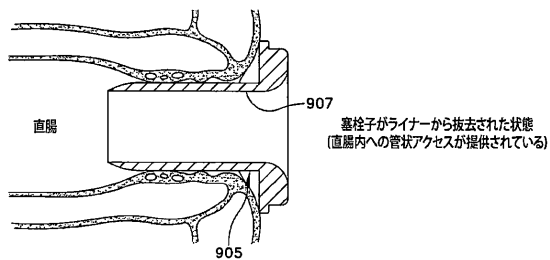
【図 42】

図 42



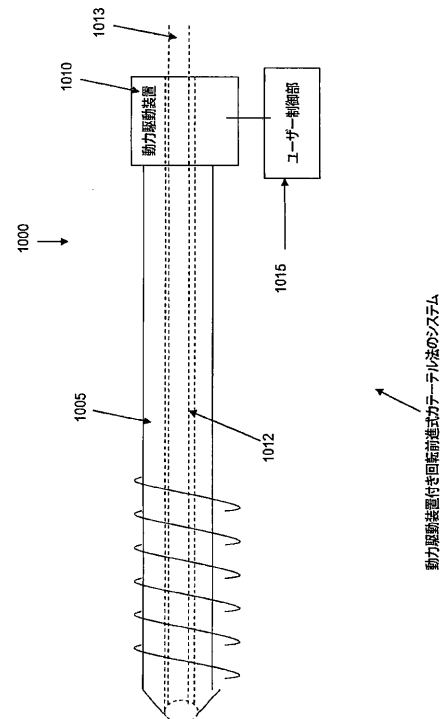
【図 43】

図 43



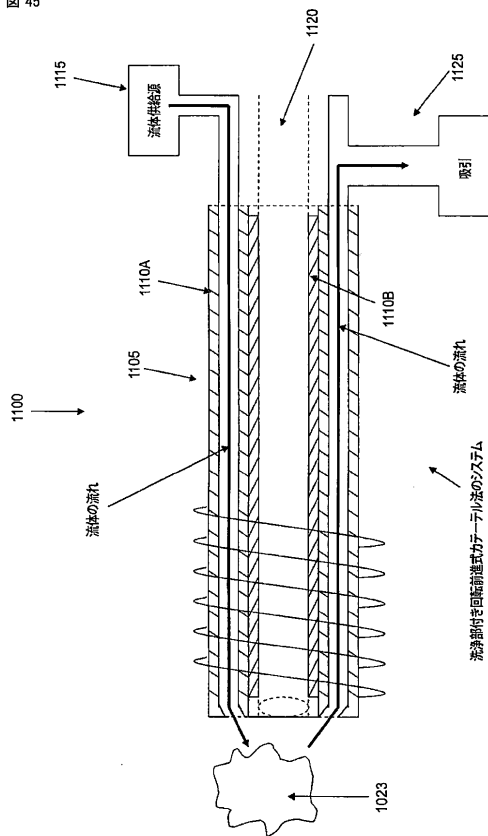
【図 44】

図 44



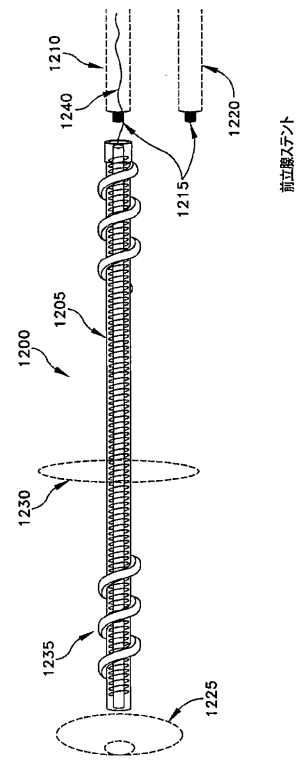
【図 45】

図 45



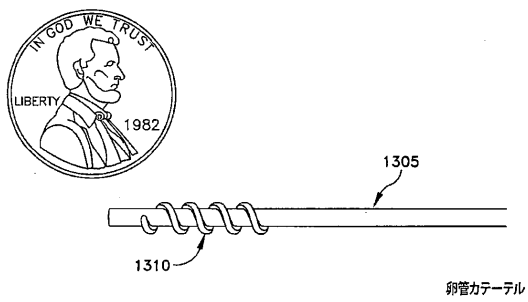
【図 46】

図 46



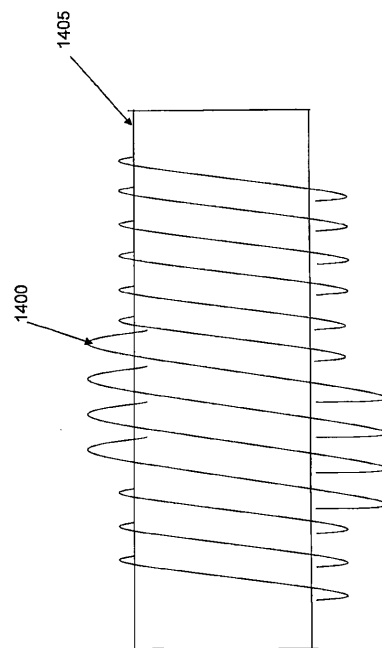
【図 47】

図 47



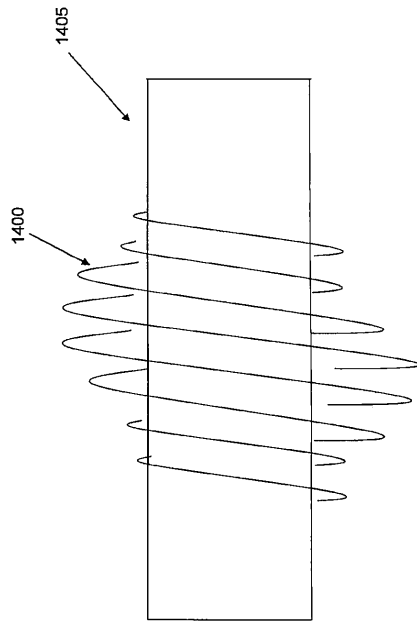
【図 48】

図 48



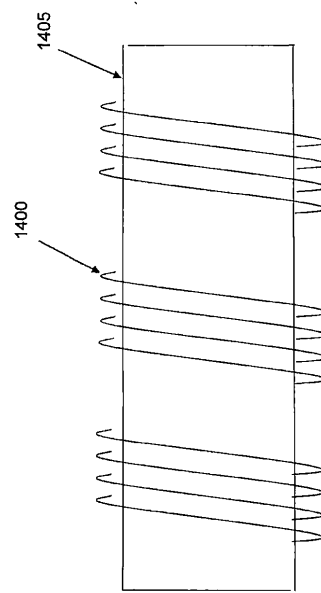
【 図 4 9 】

図 49



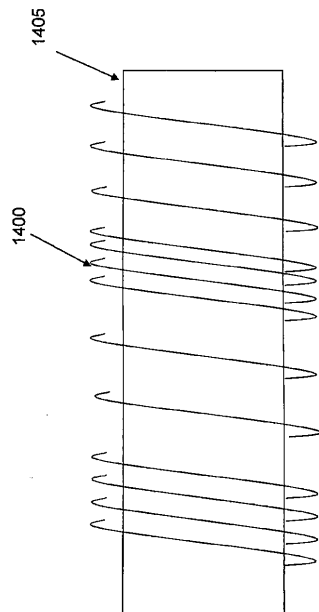
【 図 5 0 】

図 50



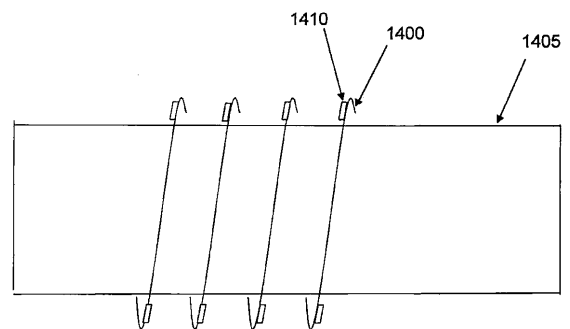
【 図 5 1 】

図 51



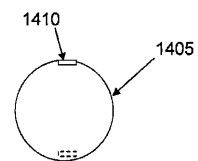
【 図 5 2 】

図 52



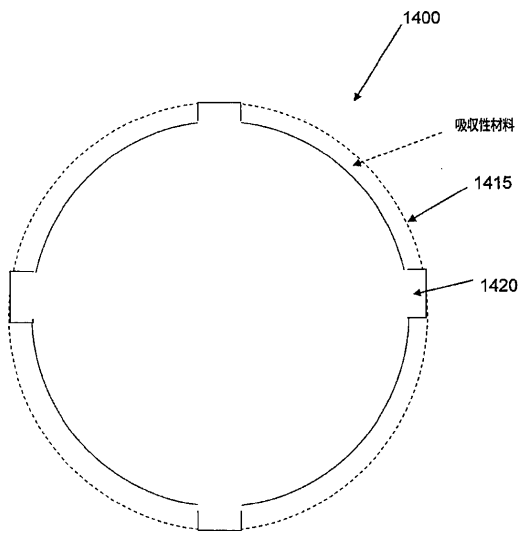
【 図 5 3 】

図 53



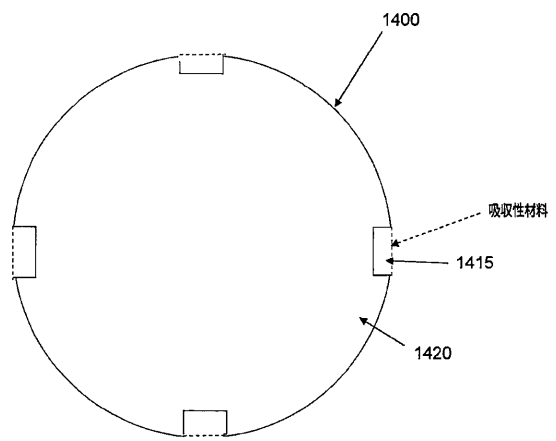
【 図 5 4 】

図 54



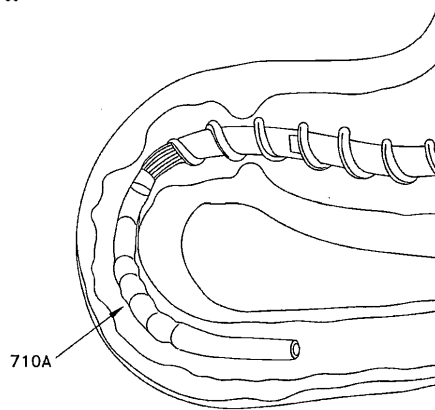
【 図 5 5 】

図 55



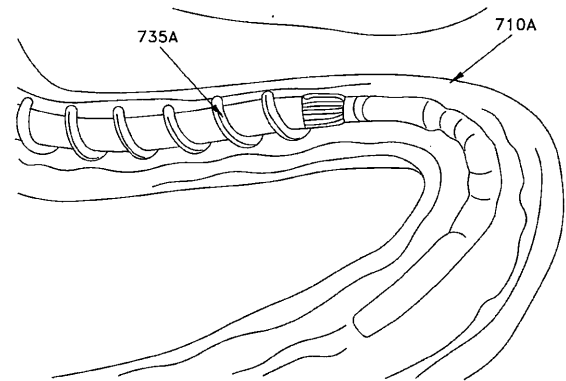
【 図 5 6 】

図 56



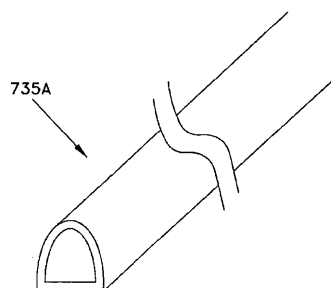
【 図 5 8 】

図 58



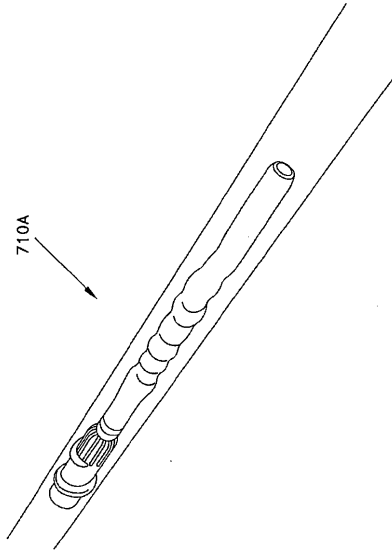
【 図 5 7 】

図 57



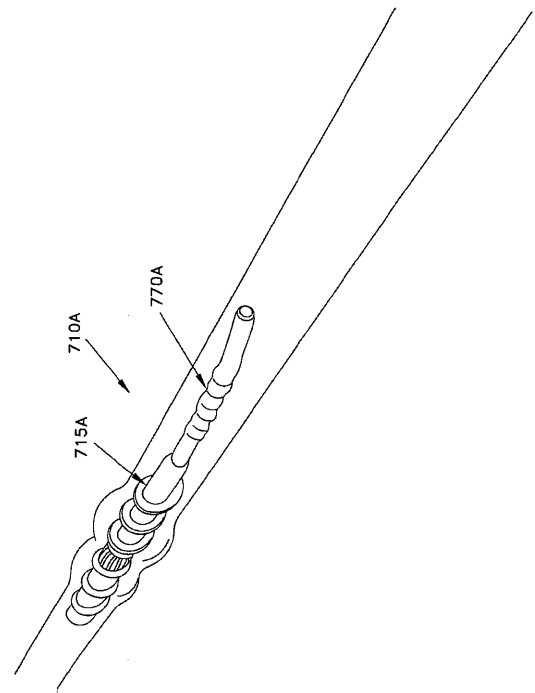
【図 59】

図 59



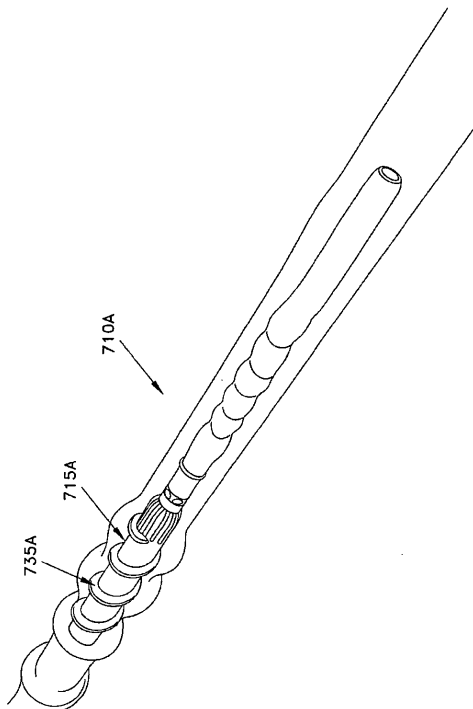
【図 60】

図 60



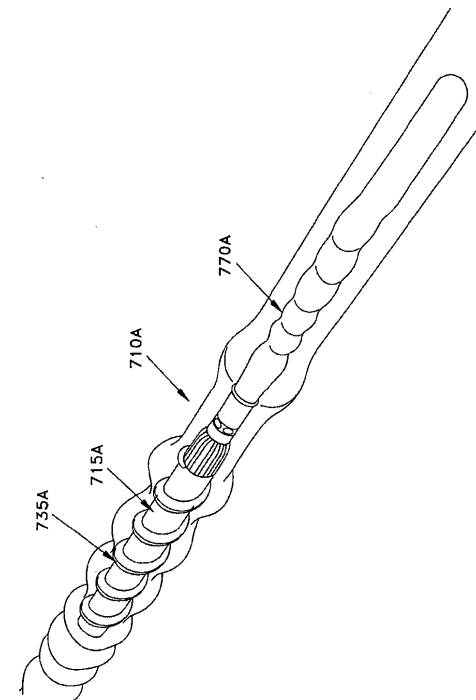
【図 61】

図 61



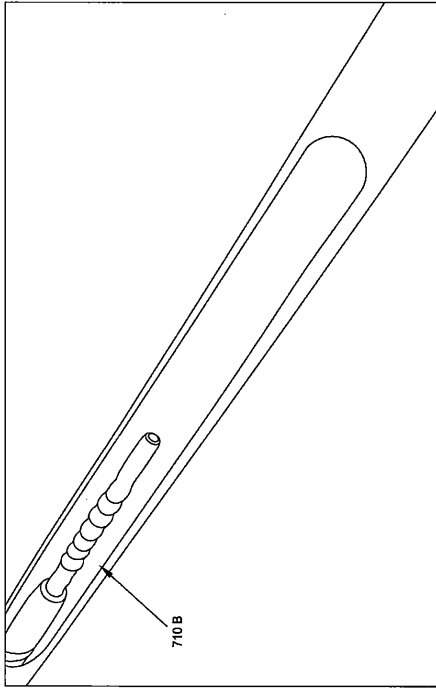
【図 62】

図 62



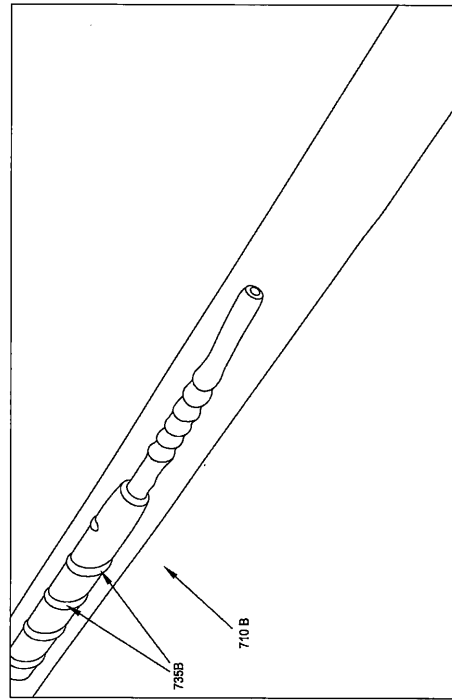
【図 6 3】

図 63



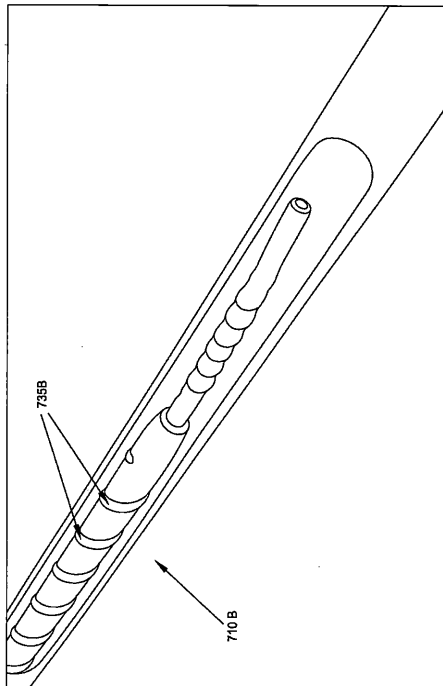
【図 6 4】

図 64



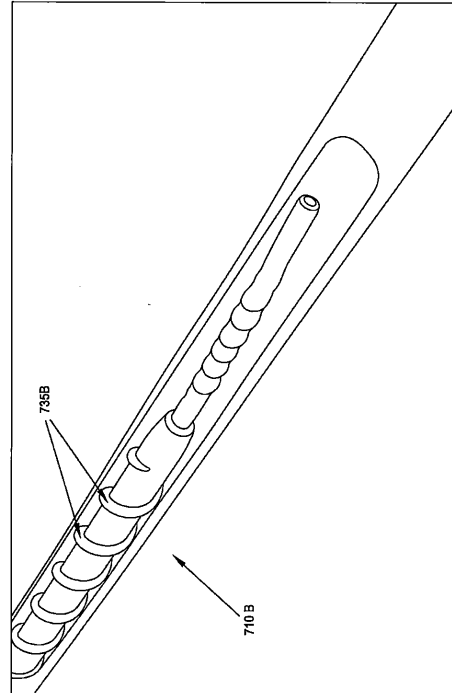
【図 6 5】

図 65



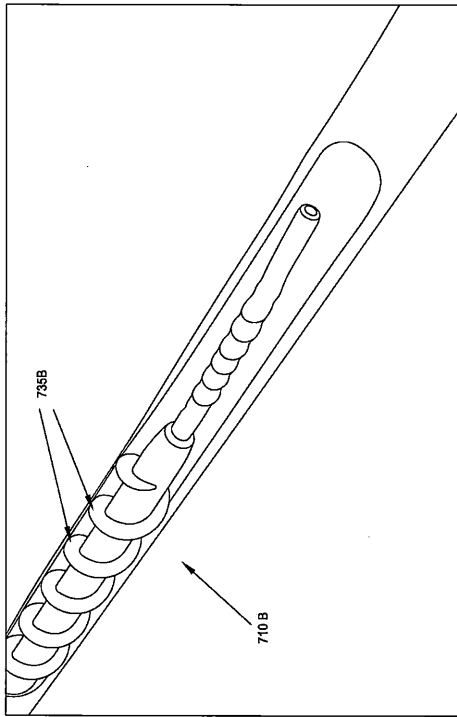
【図 6 6】

図 66



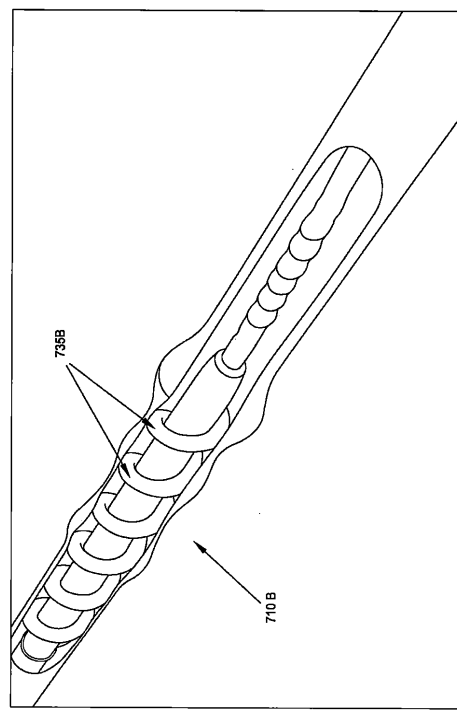
【図 67】

図 67



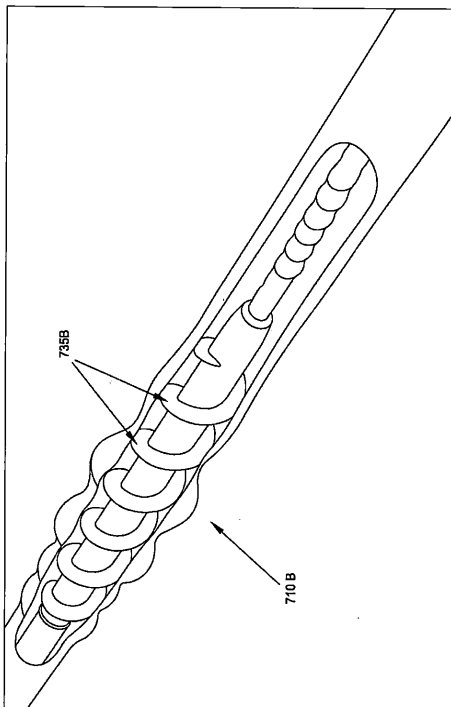
【図 68】

図 68



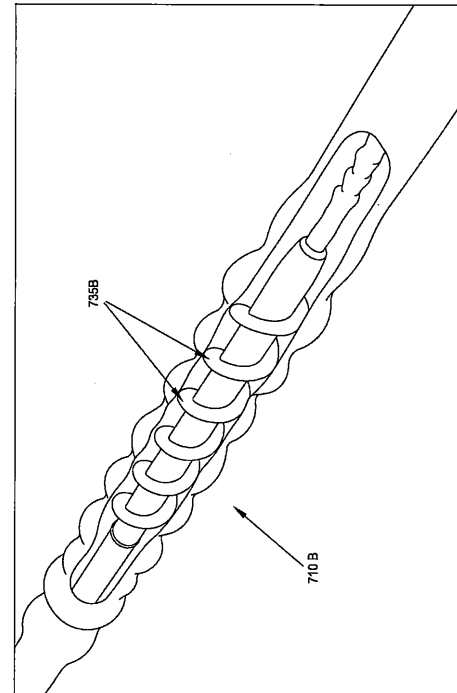
【図 69】

図 69



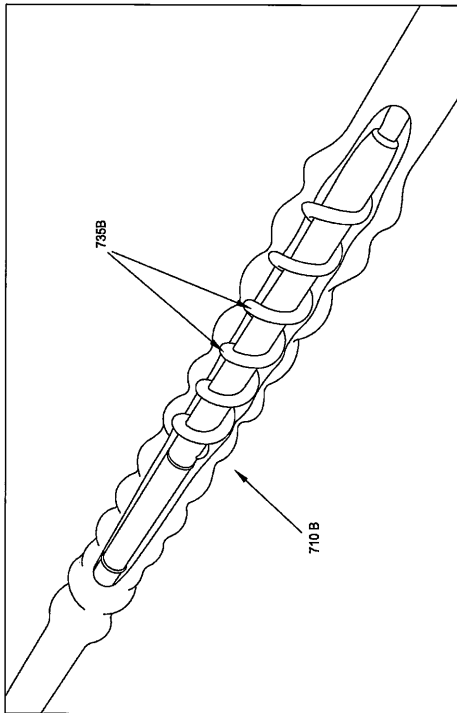
【図 70】

図 70



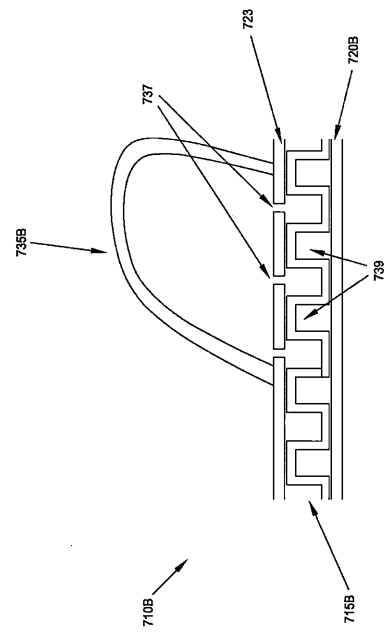
【図 7 1】

図 71



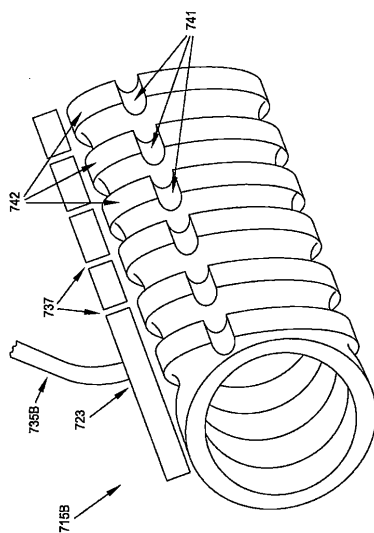
【図 7 2】

図 72



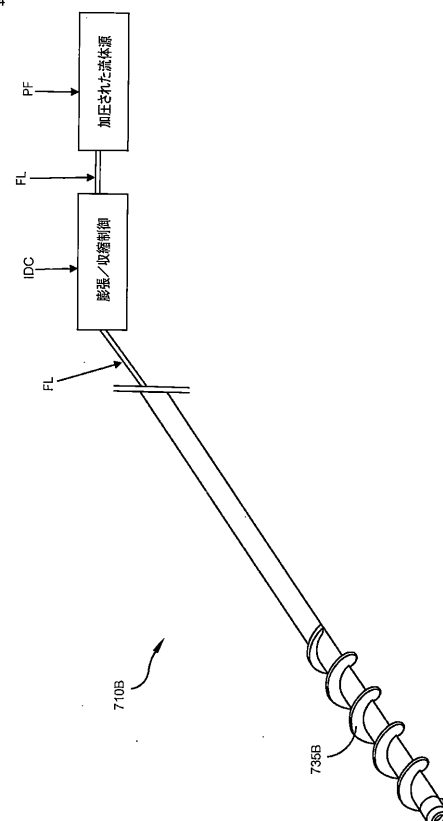
【図 7 3】

図 73



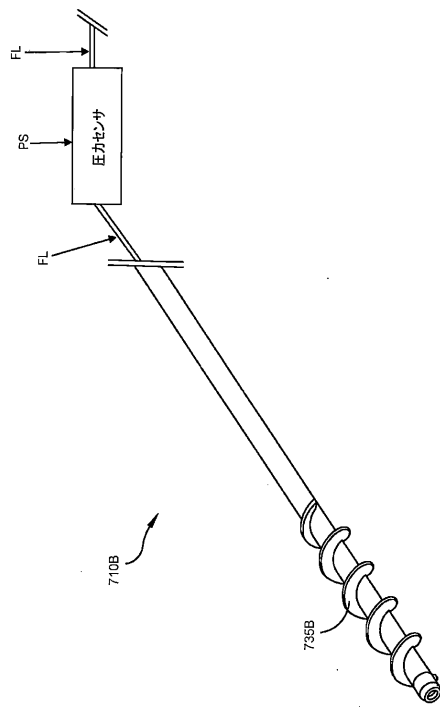
【図 7 4】

図 74



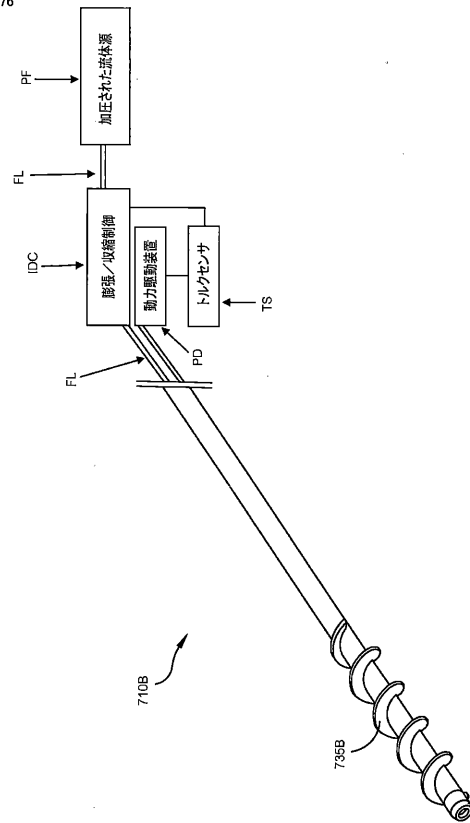
【図 75】

図 75



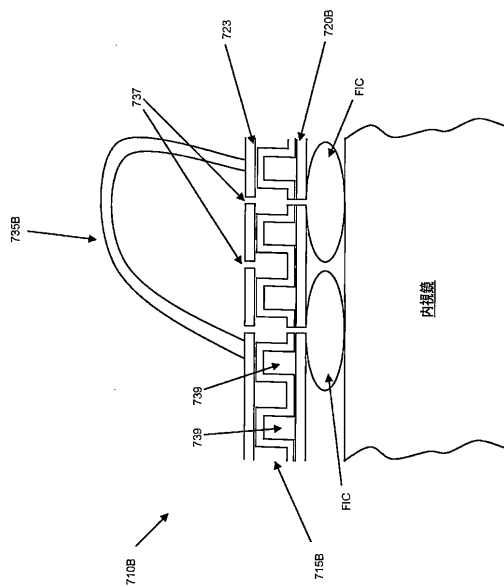
【図 76】

図 76



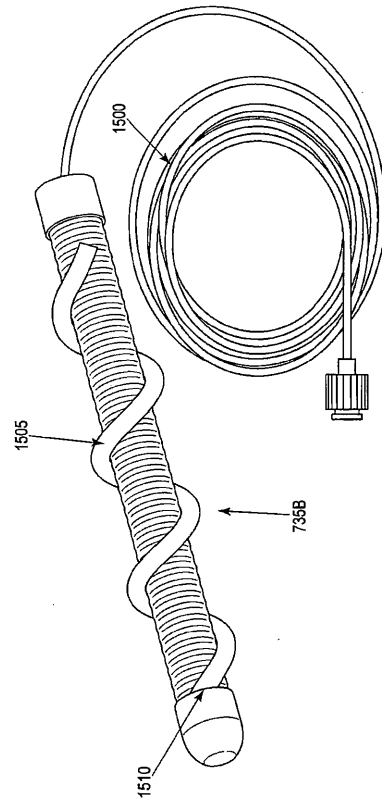
【図 77】

図 77



【図 78】

図 78



【 図 7 9 】

図 79

